

目の化学損傷

(化学薬品が目に入ったとき)

障害を残したり、失明に至る危険性がある。

- 1 健側の眼を上にして10分以上、患側の眼をゆるい流水で洗う。まぶたや目の周囲も十分に洗浄する。
- 2 大きめの清潔なガーゼでおおい、

病院受診または、救急車を呼ぶ

※砂やごみが入った場合はスポイトや急須で洗い流す。

異物が刺さった場合は抜かずに病院へ！

(抜くと失明の危険もあるので、目を清潔なガーゼで覆い病院へ)

身近にある とても嫌なもの

- ・パーマ液
- ・染毛液
- ・アルカリ性のトイレ洗浄剤
- ・運動場の線引きに使う消石灰

ゴム手袋で手を保護する。



腹痛

- 1 楽な姿勢で寝かせる。吐くことがあるので、洗面器を用意する。
- 2 体を保温すると痛みが和らぐことがある。食べ物は与えない。

痛みがひどいとき、あるいは30分経っても治まらないときは**救急車を呼ぶ**

タオルで包んだ湯たんぽを腹部に当てる。



気分が悪い場合は洗面器などを用意しておく。

アナフィラキシーショック

アナフィラキシーは薬剤の接種(注射)昆虫・海棲動物の刺傷・特定の食物の摂取などによって生ずる重篤なアレルギー反応で、数分内に症状が発現する。この反応は呼吸困難の原因となり、顔面や頸部の腫れを伴う時にはその危険性が増大する。

アナフィラキシーショックの識別

- ・いつもと違う異常な落ち着きの無さ。
- ・赤い斑状の皮膚。
- ・顔面や首が赤く腫れる。
- ・まぶたのむくみ。
- ・ぜいぜい言う、呼吸困難。
- ・脈が速くなる。

救急車を呼ぶ

楽に呼吸できる体位をとらせる。

きつい着衣をゆるめる(特に首やウエスト)



意識障害がある場合は、子どもの状態を調べる。自発呼吸がある場合は、昏睡体位をとらせた上で心肺蘇生の準備をする。

☆救急隊が到着するまで安心して静かに待つように説明する。